

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和５年度九州管内におけるフェリー・RORO貨物輸送検討等業務				
業務概要	業務名称		業 務 内 容		摘 要
	設 計 仕 様		単位	数量	
	令和５年度 九州管内におけるフェリー・RORO 貨物輸送検討等業務				
	計画準備	計画準備	式	1	
	九州管内におけるフェリー・RORO 貨物輸送の動向	トラック輸送からの転換を考慮したフェリー・RORO 貨物輸送の需要の推計	式	1	
		情報通信技術・自動化技術等の情報収集整理	式	1	
		現状の港湾施設等での対応の可否及び課題の整理	式	1	
		成果物	業務完成図書作成	式	1
	協議・報告	事前協議	回	1	
		中間報告	回	2	
最終報告		回	1		
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官九州地方整備局副局長 杉中 洋一 福岡県福岡市博多区博多駅東 2－1 0－7				
契約年月日	令和5年7月18日				
契約業者名	一般財団法人みなと総合研究財団				
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門 3－1－1 0				
契約金額（税込）	¥29, 051, 000				
予定価格（税込）	¥29, 051, 000				
随意契約によることとした理由	九州管内の内航フェリー・RORO 船による貨物輸送について、近年のトラックドライバー不足や2024 年度からの時間外労働の上限規制適用等により更なる労働力不足が懸念され、これにより内航フェリー・RORO 船によるユニットロード貨物の輸送動向変化や輸送需要増加が想定される。本業務を実施するにあたり、その動向について分析を行うには、豊富な経験が必要であり高度な知識を要するため、受注業者に対しては、1. 配置予定技術者の経験及び能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、一般財団法人みなと総合研究財団が最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。				
業務場所	発注者指定の場所				
業種区分	建設コンサルタント等				
履行期間（自）	令和5年7月18日				
履行期間（至）	令和6年3月22日				
備考					